



## 法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして 企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し  
国と社会の繁栄に貢献する 経営者の団体である



## 紅葉を 眺めて二人 ウォーキング

撮影 株大武写真館 小関克郎

### レジ袋から頭陀袋へ(マイバッグ)

大雄寺 住職 金子 高幸

七月からレジ袋が有料化され買い物袋の持参が当たり前となってきた。普段何気なくもらっているレジ袋だが、ある調査ではマイバッグ持参率が七割を超えたとも、日本人の変化への対応能力には驚く。私は今までの習慣が抜けずつい忘れてしまうことも多く修行が足りないと感じるばかりだ。

プラスチックは、成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化などあらゆる分野で私たちの生活になくてはならない存在だともいえる。その一方で、資源の制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの原因ともいわれている。ペットボトルが海を漂流し文明社会とはまったく無縁の無人島に流れ着いたり、海底に沈んだプラスチックごみの映像をみて改めて気づかされたことも多い。日本は主要な地域・国の中で一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が二番目に多いと言われることにも驚いた。美しさを誇る国から出されるゴミが地球を汚しているわけだ。

仏教の修行者が持つ袋のことを【頭陀袋】<sup>ずだんかぶろ</sup>という。頭陀とは払い落し、捨てさることを意味する。仏道修行をさして頭陀行<sup>ずだんぎやう</sup>といったり、乞食修行で供養してもらった物を入れる袋として使われる。

私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制するとともに、それが本来に必要なかを考え、バッグに入らない物まで買わない取捨選択の賢い【頭陀の買い物】をしていく必要があるだろう。

「仏教徒です」と胸を張って言い切れない日本人が多いですが、色とりどりのマイバッグ(頭陀袋)に驚きながらも、その普及利用にはお釈迦様もきつとお喜びのことと思う。

# 仙台南税務署 人事異動

仙台南税務署  
総務課長

藤田 貴之

【出身地】山形県  
【趣味】動画鑑賞  
【座右の銘】正々堂々  
【あいさつ】



これまで国税局実務指導専門官及び仙台北署法人第一統括官勤務の際、直接法人会担当として携わり、法人会の皆様には大変お世話になりました。当時から仙台南法人会の活発な活動には敬服しております。署の総務課長として、引き続きの連携・協調に努めたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

仙台南税務署  
署長

今野 聡

【出身地】宮城県  
【趣味】映画鑑賞  
【座右の銘】有言即行動  
【あいさつ】



仙台南法人会の皆様におかれては活発な活動を展開されていることに心より敬意を表する次第です。コロナ禍という経験のない環境の中で個人的に気が滅入ることもあります。少しでも前向きな気持ちを忘れぬよう自戒しております。一年間よろしくお願ひします。

七月十日付で仙台国税局の人事異動があり、仙台南税務署へ新たに着任されました署長・総務課長・法人課税第一部門連絡調整官兼総括上席調査官より、皆さまへご挨拶を頂きました。ご紹介いたします。

## インターネットセミナー ・・・ご案内・・・

何時でも、何処でも、好きなだけ無料で当会ホームページよりご利用いただけます。

- ・一流講師による豊富なセミナーが満載
- ・勉強会(社内研修)に活用できます。

利用者は専用IDとパスワードを入れてログインすると視聴可能となります。

仙台南税務署  
法人課税第一部門連絡調整官

浦山 智広

【出身地】山形県  
【趣味】釣り、ドライブ  
【座右の銘】一意専心  
【あいさつ】



仙台南税務署での勤務は2度目となります。税に対する関心が高まっている中、仙台南法人会の皆様と良好な関係を維持できますよう微力ながら尽力していきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

## 仙台南税務署 新旧幹部職員名簿

令和2年7月10日定期人事異動 (敬称略)

仙台南税務署	新	前	任	旧	異 動 先
署 長	今野 聡	酒田・署長		古木 隆幸	局・総務部総務課長
総 務 課 長	藤田 貴之	会津若松・総務課長		菅原 久	局・総務部会計課課長補佐
法人課税第一部門連絡調整官 兼 総括上席調査官	浦山 智広	盛岡・酒類指導官付総括上席		高橋 善裕	仙台中・法人課税第四部門統括官

年末調整特集ページは  
こちら↓  
<https://www.nta.go.jp/users/gensen/nencho/index.htm>



税務行政につきましては、日頃からご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び参加される皆様の安全を考慮し、例年実施していましたが年末調整等説明会につきましては、国税庁において、全国一律の開催中止が決定されました。ご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、年末調整に関する各種情報については、国税庁ホームページに年末調整特集ページを作成しておりますので、ご不明な点等ございましたら、こちらのページをご覧ください。また、年末調整関係の各種用紙についても、年末調整特集ページからダウンロードすることができますので、ご利用ください。

令和2年分年末調整等説明会  
開催中止のお知らせ

税に関するお知らせ



# 危機感が成長を促す

経営ジャーナリスト 野中悌二郎

終息の見えない新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く中、内閣府が2020年4～6月期の国内総生産（GDP）が年率換算で戦後最悪を記録する前期比27・8%減となったことに衝撃を感じた経営者も少なくないだろう。

しかも、3期連続でのマイナスであり、抗インフルエンザ薬やワクチン開発の見通しが不透明で、いつまでこうした経済環境が続くのか、出口が見えない。先の見えない、厳しい経済環境の中でも、お客様・社員・株主などのステークホルダーの期待を裏切らずに経営に努めていくことが経営者には求められている。

「経営は継業」であり、継続して栄えていくことにある。継続して栄えることので

きる会社であるためには、潰れないようにと、危機感をもって次なる策を講じることにこそ、継業は達せられるものだ。

過去最高の売上高と営業利益を更新し続けているファーストリテイリングの柳井正会長が、かつて、読売新聞社のインタビューで、

「会社はいつでも潰れていく可能性がある。それを前提に全社員が仕事をしなければならぬ。失敗しても、潰れない会社にはないといけない。『即断』『即決』『即実行』が大切で、遅れたらそこで終わる」と、成長の裏側にある危機感から生まれる経営エナジーを伝えていた。

経営していく上では、常に潰れていくだけの環境に置かれており、その危機感から、新製品の開発、お客

様からの支持拡大策、自社の強みを生かした販路の開拓など、現場にいる全社員が日々、仕事を重ねていく結果として、新たなビジネスモデルが構築され、業績拡大が続けられていることを伝えていくのだ。

景況の激しい荒波にも沈むことのない巨大な企業にユニクロは見えるかもしれないが、柳井会長のメッセージには、全社員が危機感に立ち向かう覚悟を持ち、今日を築いていることを見出していきたいものである。

唐の太宗の言行録をまとめた貞観政要（じょうがんせいよう）がある。その中に、危機時と安定時のそれぞれにおいて、リーダーが自戒すべき態度が記されている。

現代文に要約すれば、困難や危機にある時には、帝王は賢者を任用し、部下の忠告やアドバイスを聞き入れて対処する。

しかし、順調で安定な時になると、「必ず寛怠を欲す」に陥る。気が緩み、煩わしいとし

て部下の意見を疎んじ、部下の意見を疎んじ、部下も帝王を怖れて何も言わないものになってしまう。

そして、日を追うごとに頹勢に向き、衰退へ向かうのだと説いている。

『安きに居りて危きを思ふ』がごとくに、危機感をもって一生懸命に仕事に取り組み、部下の声にも謙虚に耳を傾けていくことが大事なのである。

安定しているからといって、楽をしたいと思えば、気の緩みを招いてしまう『必ず寛怠を欲す』に陥っては、衰退を招くのだ。

この貞観政要を徳川家康も好んで読んだと言われている。「滅びる原因は自らの内にある」との名言も遺しており、『必ず寛怠を欲す』に陥ることを戒めている。

コロナウイルス感染が広がる今、「寛怠を欲す」時ではないことを経営者は十分に認識している。

しかし、経済とか業界といった経営環境が悪いとか、虚ろいだ多言に要する時間

などはないのだ。問題を先延ばしにしている余裕はないのだ。

自分の会社が継続して栄えていくために、自力で這い上がっていくという相当地な覚悟を持って努めていくしかない。

そして、「会社が潰れかねない」という危機感を全社的に共有して取り組んでいくことこそが道を拓いていくことを柳井氏の言葉から学びたいものだ。

すぐそこにある危機感を感じ取ったら、指を咥えていることなどできないだろう。知恵や工夫が浮かんでこよう。

「遅れたら、そこで終わる」ことの思いを自らに強くしたら、「即断・即決・即実行」とのスピード対応へと駆り立てるだろう。

自身の内なる怠惰や欲望に打ち克つて、「自ら勝つものは強なり」といえる真の強者、そういう強い経営者になろう。

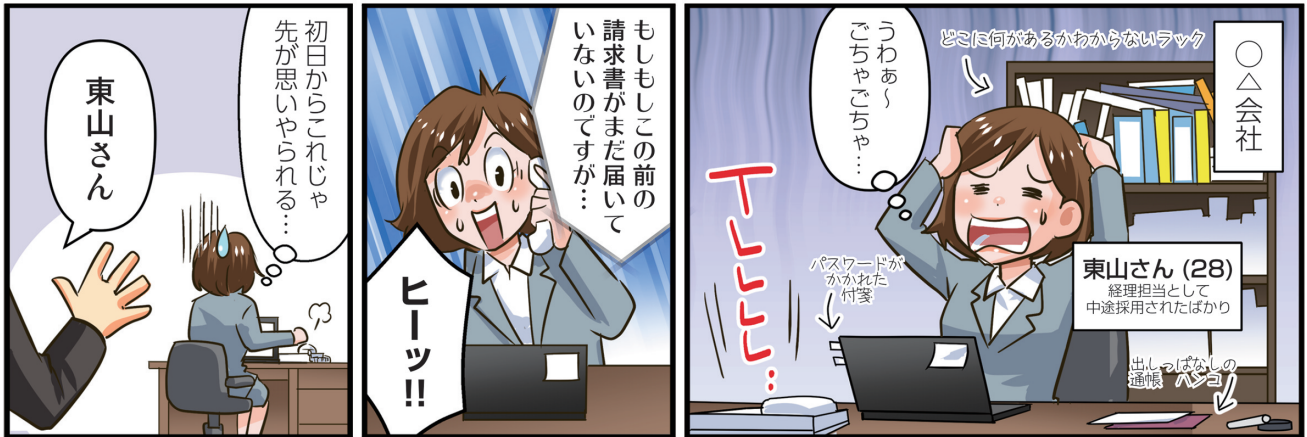
危機感をバネに躍進していく姿勢をいち早く行動に移したい。

マンガ  
でわかる!

# 法人会自主点検チェックシート

- 社内体制整備編 -

国税庁後援



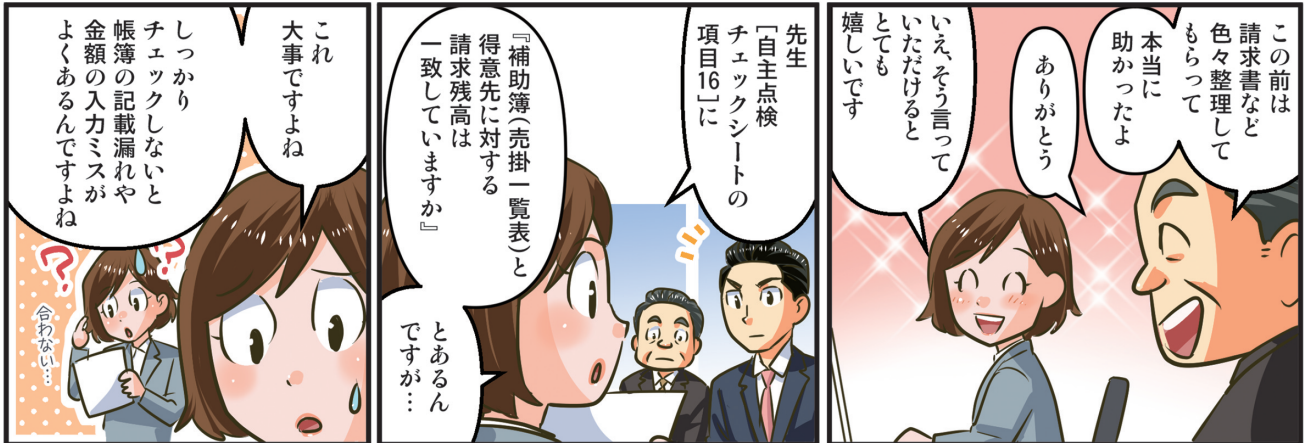


マンガ  
でわかる!

# 法人会自主点検チェックシート

- 貸借関係(売掛金)編 -

国税庁後援



# げんきの宅配便 (第六十八便)

## 友人の輪を広げよう

幸大建設株式会社 代表取締役 赤川 孝博



仙台南法人会の皆様には、いつもお世話になっております。青年部会仙台支部

長を務めております幸大建設株式会社代表取締役赤川孝博と申します。

弊社は、昭和六十一年に総合建設業として創業し、同時に設計事務所の登録を致しました。創業者である父が平成二十二年に他界したことにより、代表取締役を引き継ぎ現在に至っております。新築、増改築、リフォーム、建築確認、特殊建築物定期検査等の設計事務所業務も行っております。常にお客様には工事において「不安が無いように」、



まめに報告説明を行う等に努めています。

私の父は、昔気質の職人的でした。ですから、人見知りで知らない方たちが集まる場が苦手でした。なので、いい仕事をしていけば、お客が付いてくるという考え



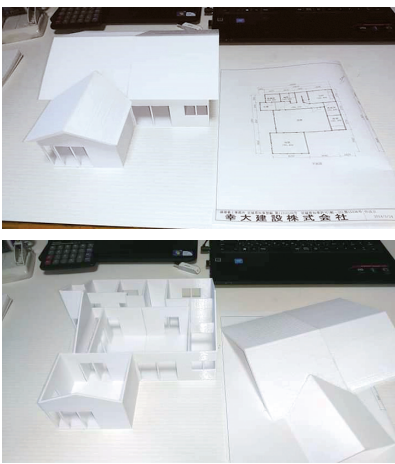
でした。しかし、たくさんの同業者のいる建設業では、顧客の広がりがある、不景気には仕事量が不安でした。

そんな漫然とした不安のなか、創業時からメインバンクである仙台銀行の担当者から、若くても「千成会」に出てもいいですよ、お誘いを受け、クリスマスパーティーに参加しました。案の定、私の父くらの年齢の方しかおりませんでした。自分的には場違い

だなと思い、おとなしく座っていたところ、隣の席の方や、同じテーブルの方が気さくに声をかけていただき、いろいろな方に紹介していただき顔見知りの輪が広がっていくのを実感できました。

これを機にいろんな集まりに出てみようと思いました。その中の一つが法人会（父が一度も出たことなく脱会、その後平澤章前支部長の誘いで入会）でした。記念式典があるのもわからずスーツじゃなくジーパンで出席し、その後の懇親会では訳も分からず目立つジーパン姿でいろんな方とお話しして覚えていただき、今では気づいたら支部長になっていました。

経営者は孤独になりがちですが、法人会やその他に仲間がいれば答えが出るかもしれないので、若い方には臆することなく、集まりには出席してほしいと思います。



岩沼市 (株)ハッピーズ  
代表取締役 スタイル  
半澤 成晃

当社は祖父の代より、日用雑貨品等の卸売業でありましたが、近年では賃貸業、洋服雑貨小売業、カラオケボックスなど多角経営を行っております。その中でもカラオケ業は、昨今のコロナ禍が直撃し、大変厳しい業態となっております。スタッフには影響が及ばないようにと何とか頑張っておりますが、このような状態まで陥りますと、さすがに私も自信を消失しかけてました。しかし、このカラオケという仕事を改めて見直してみたいところ、お客様が皆さま笑顔で帰って行き、自分もその表情を見て仕事にやりがいを感じていることが分かりました。例え減給になっても、やはり自分にはこの仕事に性合っていると実感致しました。企業は業績、収益が重視されがちではありますが、生涯を通じて取り組める仕事かどうか、という考え方も大切ではないかと感じます。今後何とかが会社を存続させ、法人会メンバーとして、お客様、公益に寄与する企業であり続けたいと考えます。皆様のご指導ご鞭撻の程、何卒お願い申し上げます。

ですか  
和の良  
たちは



# 美名実活動 Photo レポート

## 令和二年度第二回理事会・功労者表彰

七月二十八日(火)午後四時より岩沼市「竹駒神社参集殿」において新型コロナウイルス感染症拡大防止と出席者への健康と安全も考えながら令和二年度第二回理事会が開催されました。

ご来賓には、七月に新たに着任されました今野聡仙台南税務署長はじめ伊藤勝副署長、太田康明法人課税第一部門統括国税調査官のご出席を頂き開催されました。当日は佐藤議長のもと次の議題が上程され審議されました。

- (一) 入会・退会承認について
- (二) 会員増強運動について
- (三) 支部市町財政研修と 税務研修について
- (四) その他

理事会に引き続き、懇親会の席上で法人会運営に多大なる功労のあった方々が表彰されました。

●(一)社宮城県法人会連合会長表彰

大友 繁夫(仙台太白支部)

阿部 栄一(名取支部)

小林 秀明(岩沼支部)

●(公財)全国法人会総連合会長表彰

会長 佐藤 和也(仙台太白支部)

副会長 菊地 善孝(巨理支部)  
理事 永富 淳次(名取支部)  
●東北六県法人会連合会長表彰  
理事 永富 淳次(名取支部)  
事務局 関村 実(事務局長)



## 市内三会合同研修会

### やさしくわかる総務・庶務の実務

八月四日(火)午後一時半より仙都会館八階会議室において「やさしくわかる総務・庶務の実務」が三五名参加のもと開催されました。講師に(株)人事サポートプラスワン代表取締役・経営士・松本健吾氏を迎え、総務・庶務の基本的な仕事や実務のノウハウについてわかりやすい解説を頂きました。



## 経理の実務手ほどき講座

九月九日(水)午前十時よりエルパーク仙台セミナーホールにおいて「経理の実務手ほどき講座」が四十二名参加



技能を深めることが出来ました。

## 青年部会

### 租税教室開催!

七月二日(木)岩沼市立岩沼小学校、七月十日(金)仙台市立人來田小学校の六年生を対象として半澤成晃岩沼支部長、赤川孝博仙台支部長、藤澤豪仙台支部副支部長が講師となり、手作り教材とDVD視聴を取り入れながら「租税教室」を開催いたしました。最後には一億円(レプリカ)を持ってもらいました。



## 社会貢献事業

青年部会名取支部では、社会貢献事業として、なとり夏祭りの売上金の一部を用い、スポーツ少年団へ練習用具等の寄贈しております。今回は七月二十五日(土)に名取市立不二が丘小学校体育館において「名取南ミニバスケットボールクラブ」に「FJV名取ライジ

のもと開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止により初級編が中止となり中級編からの研修会となりましたが、企業会計に必要な簿記の知識と

# お元気 美名実 こんにち



岩沼市 (有)桃幸 桃野 一子

法人会の皆様、いつもお世話様になりありがとうございます。日本三大稲荷と云われます竹駒神社の門前でホテルを営業しております。創業は大正時代「桃野屋」として昭和三十二年から有限会社桃幸としております。先代からの云い伝えで大きい事を考えず細々と皆様から助けて頂ける様な商売をするをモットーに。御会食は地元のお客様を中心に、又御宿泊は全国の方に御利用頂いております。只今は、新型コロナウイルスの影響で二月末より会食、宿泊共にキャンセルが続く三月、四月、五月、六月は一〇〇%近い落ち込みです。開店休業的ですが、お客様からいろいろ御心配頂きありがたく思っております。早くコロナが終息し、皆様にお会いでき、お元気なお顔を拝見したいと思えます。それまで元気に頑張っていきたいと思えます。これからも宜しくお願い申し上げます。

ング」へそれぞれ折り畳み式ボールカゴとヘルメット掛付バットスタンド、軟式丁号球、トレーニングボールを寄贈しました。当日は鹿又司副支部長他二名の役員が訪問し贈呈しました。



## 2020セミナー予定

### ◎新入社員研修講座 ビジネス基礎スキルを 身に付けよう

講師 第一印象研究所

代表 杉浦 永子 氏

日時 十一月十八日(水)

9時30分～ 13時30分

場所 東京エレクトロン六階会議室

### ◎心が元気に笑顔になる！ 自分軸を整える

講師 ドリームワールド

代表 阿部 侑生 氏

日時 十二月九日(水) 13時30分

場所 野村不動産仙台青葉通ビル

### ◎管理職のための基礎力強化セミナー

講師 グローアップ教育センター

代表 西澤 浩二 氏

日時 令和三年二月九日(火)

13時30分

場所 未定

※詳細は事務局へお問合せ下さい。

新米はもう召し上がりましたか。

稲作は、今から約二千六百年位前の縄文時代晩期に大陸から伝えられました。米は、小麦・トウモロコシと並び世界三大穀物と言われています。水の中に根を下ろして生育する稲は、温暖多湿な日本の風土に合い、高い繁殖力を持つことから、貴重な作物として私達の生活を支えてきました。一粒から約八百粒のお米が収穫出来るそうです。

お米を主食として魚や野菜を副菜とする食事の形式は、安土桃山時代には定着したといわれていますが、それは富裕層のみで、庶民はヒエ・アワ・ソバ等の雑穀を食べていました。今のように誰もがお米を食べられるようになったのは明治以降のことのようです。

日本には、二百四十万五千ヘクタールの田があり(平成三十年)、耕地面積の約五十四%をしめています。しかし実際の稲作の耕地面積は約三十六%です。食生活の変化により米の消費量が減少したため、1970年より政府による米の生産調整(減反)が行われました。2018年の生産調整(減反)廃止により、各県は農家の収入を確保するために味や名称にこだわったブランド米を各地で次々と誕生させています。

## ご当地米

### 新しい風

コシヒカリといえば新潟ですが、実はコシヒカリの原産地は福井県。各地の主な銘柄は、北海道ななつばし・ゆめぴりか・きらら397、青森青天の霹靂・つがるロマン、秋田あきたこまち・ゆめおぼこ、岩手金色の風・銀河のしずく、山形つや姫・はえぬき・どまんなか・雪若丸、宮城ササニシキ・ひとめぼれ・だて正夢、福島里山のつぶ・天のつぶ、新潟こしいぶき・新之助、栃木あさひの夢・とちぎの星、群馬ゴロピカリ、茨城キヌヒカリ、千葉ふさがね、福井あきさきり、富山てんたかく・富富富、石川ひやくまん穀・ゆめみづほ、岐阜ハツシモ、愛知あいちのかおり、滋賀夢ごち・日本晴、福岡夢つくし、佐賀さがびより、熊本森のくまさん等々ほんの一部ですが、どれ位ご存知ですか。

最後にお米の収穫量(平成元年度)の多い都道府県は一位「新潟県」、二位「北海道」、三位「秋田県」となっており、宮城県は第四位でした。それでは、美味しいご当地米をご堪能ください。

●広報委員会がパソコンに「ご当地米」を検索、その中から文章をまとめました。

## 編集後記

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の中で、各方面で様々な試練に見舞われています。今まで行われていた経済活動の自粛や新しい生活様式の登場など、世の中が大きく変化しようとしております。しかし、このような厳しい状況にあるからこそ、気づくこともあります。人には苦難を克服するための知恵が備わっています。過去に多くの災厄を乗り越えてきた先人たちの知恵に学びながら、未来を照らす叡智を授かりたいと思います。

(広報委員 馬上 昌和)

仙台南法人会では広報誌「せんだい美名実」の設置場所の提供を求めています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## 広告募集中

当法人会では広報誌「せんだい美名実」など発送時に同封するチラシ折込広告を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。(但し、広告内容によってはご要望に添えないことがあります。)

規格はA4版。  
一枚につき二十円(手数料込)

## せんだい美名実 第316号

発行人 公益社団法人 仙台南法人会  
編集 会長 佐藤 和也  
副会長 藤原 和也  
事務局 仙台市太白区大野田三丁目一番四八号  
電話 022-221-2461  
FAX 022-221-2464  
E-mail: info@nhanhocon.jp